

平成29年8月1日（火）

大船渡労働基準監督署  
（担当）署長 熊谷 久  
（電話）0192-26-5231

## 報道機関のみなさまへ

いつも大変お世話になっております。

大船渡労働基準監督署の活動予定（本日現在の予定）をご連絡申し上げます。

お時間がございましたら取材等をお願い申し上げます。

8月9日（水） 13:30～

（集合場所：トラック協会大船渡支部）

岩手県トラック協会「交通事故・労働災害」撲滅の夏季安全点検パトロール

会員事業場を巡回し、交通事故及び労働災害防止について、注意喚起を促し、点呼・アルコールチェックなどの実施状況を点検するものです。

※取材問合先 （公社）岩手県トラック協会大船渡支部 電話：0192-26-7227

8月24日（木） 13:30 ～ 16:30 （会場：リアスホール会議室）

「気仙地区復旧・復興関連 大規模工事安全衛生等連絡会議」

※ 大船渡港 野々田地区海岸防潮堤ほか工事

りんかい日産建設(株)東北土木支店 作業所

大船渡市大船渡町字野々田地内 ☎0192-47-5798

出席予定

大船渡警察署、国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所、

沿岸広域振興局大船渡土木センター、大船渡労働基準監督署、仙台労務管理

研究会、大船渡労働基準監督署管内大規模建設工事施工者（19事業体）

8月（未定） （集合場所：※）

「第1回安全パトロール」

主催：気仙地区木建災害防止協議会 ☎0192-27-2671

※集合場所：気仙職業訓練協会 会議室（大船渡市盛町字みどり町13-4）

昨年は、11:00よりパトロール実施現場選定及び打合を行い、現場パトロールの実施は午後から、パトロール実施結果の検討会は16:00頃からでした。

## 【参考】大船渡労働基準監督署管内における労働災害発生状況

平成29年（平成29年7月末日現在）の死傷者数は49人で、対前年同期比4人（8.9%）増加となっています。

7月は15人の労働災害の報告があり、過去に遡ると平成25年10月と同数で平成20年9月の17件に次ぐ人数でした。

(1) 業種ごとの死傷者数は以下のとおりです。

製造業	12人	対前年同期比	+6人（+100%）
鉱業	0人	同	▲1人
建設業	17人	同	▲3人（▲15%）
運輸交通業	3人	同	±0人
農林業	0人	同	▲1人
畜産・水産業	3人	同	±0人
商業	3人	同	▲2人（▲40%）
保健衛生業	2人	同	+1人（+100%）
接客娯楽業	4人	同	±0人
その他の事業	5人	同	+4人（+400%）

※ 次葉「労働災害発生状況」平成29年（平成29年7月末日現在）参照。

(2) 事故の型別では、「墜落・転落」が13人（前年同期比同+5人）と最も多く、「転倒」が6人（同▲8人）、「崩壊・倒壊」（同+5人）と「切れ、こすれ」（同±0人）が各5人、「激突され」と「はさまれ、巻き込まれ」と「交通事故」が各4人（すべて同+1人）などとなっています。

※ 下表上段参照

(3) 震災復興工事の死傷者数は13人で、対前年同期比±0人となっています。

○業種ごとの死傷者数は以下のとおりです。

土木工事業	5人	対前年同期比	±0人
建築工事業	7人	対前年同期比	±0人
鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	3人	同	+3人
木造家屋建築工事業	4人	同	▲3人
その他の建築工事業	0人	同	±0人
その他の建設業	1人	対前年同期比	±0人

○事故の型別では、「墜落・転落」（前年同期比 同▲1人）「激突され」が3人（前年同期比+2人）、と「交通事故」（同±0人）が各2人でした。 ※下表下段参照

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	14	17	19	90	99	合計
		墜落、転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ、はさまれ	切れこすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	爆発	交通事故(道路)	無理な動作・動作の反動	その他	分類不能	
全業種	29年7月末	13	6		2	5	4	4	5			3			4	3			49
	28年7月末	① 8	14	1	3		3	3	5			1		1	3	2	① 1		② 40
	28年【確定】	① 13	25	1	7		8	7	11		1	1		1	4	4	① 1		② 84
	27年【確定】	23	17	4	6	5	3	① 18	8	1		1			6	4	1	1	① 98
震災復興工事	29年7月末	7					3					1			2				13
	28年7月末	① 3	2		1		1	1	2						2		1		② 13
	28年【確定】	① 4	2		1		2	3	2						2		① 1		② 17
	27年【確定】	2		1	2	3	2	5	1	1									17

※前年同期の件数は、労働者死傷病報告を受理した件数又は業務上災害に認定した件数となります。

# 労働災害発生状況

平成29年（平成29年7月末日統計）

大船渡労働基準監督署

業 種		当年累計	前年同期	対前年同期		
				増減数	増減率	
製 造 業	食料 品	水産食料品	6	2	4	200.0%
		上記以外の食料品	3	1	2	200.0%
	繊維・衣服その他繊維製品					
	木材・木製品、家具・装備品		1		1	
	パルプ・紙、印刷・製本					
	化学工業		1	1		
	窯業土石			1	-1	
	鉄鋼業、非鉄金属					
	金属製品					
	一般機械器具					
	電気機械器具			1	-1	
	輸送用機械製造		1		1	
	電気・ガス					
	その他の製造					
小 計		12	6	6	100.0%	
鉱 業			1	-1		
建 設 業	土木工事		5	① 5 (2)		
	建 築 工 事	鉄骨・鉄筋家屋	3 (2)		3	
		木造家屋	6	① 11	-5	-45.5%
		その他の建築工事		1	-1	
	その他の建設		3	3		
小 計		17 (2)	② 20 (2)	-3	-15.0%	
運 輸 交 通 業	道路貨物運送業		3	3		
	その他の運輸交通業					
貨物取扱						
農 林 業	農業					
	林業			1	-1	
畜 産 水 産 業	畜産業			1	-1	
	水産業		3	2	1	50.0%
商 業	小売業		3	4 (1)	-1	-25.0%
	その他の商業			1	-1	
通 信 業		2 (2)	1	1	100.0%	
保 健 衛 生 業	社会福祉施設		2	1	1	100.0%
	その他の保健衛生業					
接 客 娛 楽 業	旅館業		1		1	
	飲食店		2	3	-1	-33.3%
	その他の接客娯楽業		1	1		
その他	ビルメンテナンス業					
	その他(上記以外の全ての業種)		3		3	
合 計			49 (4)	② 45 (3)	4	8.9%

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上統計である。○内は死亡者数(内数)である。  
( )内は交通労働災害者数(内数)である。